

## 職場の声で3.2ヶ月を獲得しよう！ ボーナス第1回団体交渉

本部は10月24日、「2008年度年末手当に関する申入れ」に基づき、第1回団体交渉を行いました。

団体交渉では、趣旨説明を行い改めて年末手当3.2ヶ月を要求しました。会社は「交渉にあたっての考え方」を示しました。

次回団体交渉から具体的な交渉となります。要求獲得に向け職場の声を結集しよう。

### JR東海労の要求趣旨（概要）

平成20年度、第1四半期連結会計期間における東海道新幹線の輸送人キロは、前年同期に比べ101%、在来線は100%となった。社員の休日出勤や日夜にわたる努力の結果である。

夏季輸送期間の輸送量は、全体で対前年比101%と順調に推移した。新幹線のお盆期間中の運転本数は過去最多の一日平均337本運転、8月17日は23万4千人と夏季期間では過去最多を記録した。社員の努力と期待に十分応えるため、年末手当を3.2ヶ月とすること。

### 会社側の考え方（概要）

上半期の輸送実績は、新幹線・在来線普通とも前年比100%を超えているものの、下半期は景気減速を踏まえ連結・単体とも減収減益を見込んでいる。対抗輸送機関との激化で今後一段と厳しい状況となる。

冬のボーナスの世間相場は、年間臨給方式の企業は微増しているが、企業収益の減少傾向などを踏まえると極めて厳しい状況にある。当社のボーナスは、既に世間的に見て相当高水準であり、ほぼ上限に達している。要求の主旨なども含め、真摯に議論していく。

社員の最大限の努力に応えよう！